



株式会社 UKCホールディングス

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成29年8月14日

上場会社名 株式会社UKCホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3156 URL http://www.ukcgroup.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福寿 幸男
 問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員経営企画部門長 (氏名) 大澤 剛 TEL 03-3491-6575
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	76,317	22.0	1,096	429.6	1,064	—	630	—
29年3月期第1四半期	62,558	△6.4	207	—	△275	—	△330	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 267百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △471百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	40.14	—
29年3月期第1四半期	△21.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	125,473	37,401	29.5	2,360.09
29年3月期	124,237	37,154	29.6	2,340.69

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 37,045百万円 29年3月期 36,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	0.00	30.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 1 直近に公表されている平成30年3月期配当予想の修正の有無: 無

(注) 2 当社は、平成29年6月13日付「剰余金の配当に関するお知らせ」の通り、平成29年3月期の計算書類を確定できていないことから、当初基準日(平成29年3月31日)に基づき、6月14日に予定しておりました剰余金の配当に係るお支払い手続に着手することができなかつたため、平成29年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行わないことといたしました。また、平成29年7月12日の当社の取締役会決議に基づき、新たに平成29年7月31日を剰余金の配当の基準日と定めましたが、同基準日における配当金につきましては、平成29年5月10日の発表内容(1株当たり30円)から変更する予定はございません。今後の取締役会で詳細を決定次第、お知らせいたします。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	156,000	18.3	2,500	—	2,400	—	1,600	—	101.93
通期	300,000	9.6	5,500	—	5,100	—	3,400	—	216.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	15,700,021株	29年3月期	15,700,021株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	3,281株	29年3月期	3,142株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	15,696,820株	29年3月期1Q	15,697,077株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益、雇用情勢、設備投資等の改善により、緩やかな景気回復基調が継続しております。また、世界経済は、地政学的なリスクもあり先行きの不透明感はありますが、全体としては引き続き緩やかな回復基調にあります。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、自動車の電子化・自動化やI o T (モノのインターネット化)の進展により、車載、産業分野を中心に市場の拡大が期待されます。

このような状況の下、当社グループは、ソニー製の半導体・電子部品事業を軸とし、自社工場におけるEMS (電子機器受託製造サービス)等の高付加価値事業の拡大、取扱い製品の拡張、新規事業の創出に引き続き注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、763億17百万円(前年同期比22.0%増)、営業利益は10億96百万円(前年同期比429.6%増)、経常利益は10億64百万円(前年同期は2億75百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億30百万円(前年同期は3億30百万円の損失)となりました。

(報告セグメント別の業績)

・半導体及び電子部品事業

半導体及び電子部品事業におきましては、前年同期の熊本地震の影響の剥離や海外のスマートフォン向け売上が好調に推移したことにより、増収となりました。セグメント利益は、増収効果と利益率の向上により増益となりました。

以上の結果、売上高は732億57百万円(前年同期比23.1%増)、セグメント利益は13億14百万円(前年同期比179.0%増)となりました。

・電子機器事業

電子機器事業におきましては、前年同期の熊本地震による一部製品の調達難の影響が剥離したことや4K需要等により、増収となりました。

以上の結果、売上高は30億92百万円(前年同期比7.3%増)、セグメント損失は1億61百万円(前年同期比83百万円の改善)となりました。

・システム機器事業

非接触ICカード関連事業におきましては、電子マネーの用途が広がっています。また、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、車載向けの引き合いが増加しています。しかしながら、両事業とも足元の需要が減速しました。

以上の結果、売上高は4億46百万円(前年同期比22.4%減)、セグメント損失は16百万円(前年同期は24百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して12億36百万円増加し、1,254億73百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少9億73百万円、受取手形及び売掛金の減少29億51百万円、電子記録債権の増加12億58百万円、たな卸資産の増加47億21百万円、その他流動資産の減少6億39百万円及び投資有価証券の増加1億38百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して9億88百万円増加し、880億71百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加6億60百万円、短期借入金の増加20億91百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少11億84百万円、未払法人税等の減少5億75百万円、その他流動負債の増加1億55百万円によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して2億47百万円増加し、374億1百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益6億30百万円、為替換算調整勘定の減少4億21百万円を主要因としたその他の包括利益累計額の減少額3億25百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、平成29年7月31日公表の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,076	19,103
受取手形及び売掛金	73,655	70,703
電子記録債権	2,678	3,936
商品及び製品	19,219	23,089
仕掛品	653	1,345
原材料及び貯蔵品	784	946
前渡金	6,435	6,316
その他	4,872	4,232
貸倒引当金	△11,950	△12,262
流動資産合計	116,426	117,409
固定資産		
有形固定資産	3,079	3,165
無形固定資産	425	413
投資その他の資産		
投資有価証券	3,388	3,527
その他	2,445	2,481
貸倒引当金	△1,528	△1,524
投資その他の資産合計	4,306	4,484
固定資産合計	7,811	8,063
資産合計	124,237	125,473
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,562	46,222
短期借入金	32,926	35,017
1年内返済予定の長期借入金	1,325	140
未払法人税等	1,094	518
賞与引当金	422	202
その他	2,491	2,647
流動負債合計	83,823	84,749
固定負債		
長期借入金	2,300	2,300
役員退職慰労引当金	40	41
退職給付に係る負債	301	294
その他	617	686
固定負債合計	3,260	3,322
負債合計	87,083	88,071

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,383	4,383
資本剰余金	6,342	6,342
利益剰余金	23,010	23,640
自己株式	△5	△5
株主資本合計	33,731	34,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	765	861
為替換算調整勘定	2,289	1,868
退職給付に係る調整累計額	△44	△44
その他の包括利益累計額合計	3,010	2,684
非支配株主持分	412	356
純資産合計	37,154	37,401
負債純資産合計	124,237	125,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	62,558	76,317
売上原価	59,225	72,063
売上総利益	3,333	4,254
販売費及び一般管理費	3,126	3,158
営業利益	207	1,096
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	17	17
為替差益	—	100
その他	34	16
営業外収益合計	61	142
営業外費用		
支払利息	85	144
為替差損	402	—
その他	55	29
営業外費用合計	543	174
経常利益又は経常損失(△)	△275	1,064
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	—	182
特別損失合計	—	182
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△275	881
法人税等	103	288
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△378	593
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△48	△36
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△330	630

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△378	593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	96
為替換算調整勘定	△177	△421
退職給付に係る調整額	1	△0
その他の包括利益合計	△93	△325
四半期包括利益	△471	267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△423	304
非支配株主に係る四半期包括利益	△48	△36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	半導体及び 電子部品	電子機器	システム機 器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	59,511	2,532	515	62,558	-	62,558
セグメント間の内部売 上高又は振替高	22	349	59	432	△432	-
計	59,533	2,881	575	62,990	△432	62,558
セグメント利益又は損失 (△)	471	△245	24	249	△42	207

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△42百万円には、セグメント間消去取引0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△43百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	半導体及び 電子部品	電子機器	システム機 器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	73,245	2,655	415	76,317	-	76,317
セグメント間の内部売 上高又は振替高	11	436	30	478	△478	-
計	73,257	3,092	446	76,795	△478	76,317
セグメント利益又は損失 (△)	1,314	△161	△16	1,136	△40	1,096

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△40百万円には、セグメント間消去取引0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△40百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため記載を省略しております。